



機械チーム

IAN's

笠間市国際交流員イアンズビュー

View

vol.13

日本に訪れる私のような外国人にとつて、「日本＝田んぼ」というイメージがあります。アメリカの田舎の風景は、ほとんどがトウモロコシ畑や牧場なので、田んぼの風景は馴染みがなく、珍しいものです。私は、電車や自転車から見た田んぼが広がっている笠間市の景色が、日本らしさで溢れていてもお気に入りです。その田んぼで、田植えや稲刈りができたことはとても嬉しい体験でした。

田植えでは、機械を使い、規則的で綺麗な列で苗を植えることに感動しました。私の仕事は、機械が回転した所の土をならし、機械で植えられなかった角の所に手で苗を植えることでした。慣れない作業でしたが、試行錯誤を繰り返して、スムーズに作業を進められるように努めました。そして、みんなと共に汗を流した後、田んぼ道で休憩して食べたお弁当は、達成感で今までにない美味しく感じました。

また、農業は家族や隣人、コミュニティで助け合いながらやるもので、「お米はみんなの協力があつてこそで

Rice Fields Forever



苗箱掃除チーム

きるもの」と感じました。人と人の繋がりを大切にする「協調性」は、日本文化の素晴らしい特徴です。田植えをしたことで日本文化や日本の風習に触れることができ、貴重な一日でした。

実は、こうした農業体験やホームステイは外国人の観光客に人気があります。私を含めた外国人は純粋に日本の人と触れ合ったり、日本のことが知れたかったりして、日本を訪れます。ぜひ、このような体験を待ち望んでいる外国人をたくさん迎え入れて、自然や文化などの魅力を伝えてほしいです。

【問い合わせ】市民活動課（内線 133）